PRESS RELEASE

平成 28 年 5 月 16 日
テラドローン株式会社

太陽光発電（メガソーラー）の造成現場をドローンで測量
～日本国内における自然エネルギーの普及へ貢献～

テラドローン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:徳重徹)は、太陽光・風力等の自然エネルギー発電所の事業開発・設計・機器調達・運営保守を行う juwi 自然電力株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：長谷川雅也）の依頼を受け、太陽光発電の設置のため、栃木県那須塩原市におけるドローン測量を実施しました。

太陽光発電の開発ニーズの高まり

近年、再生可能エネルギーへのシフトを背景にして、太陽光発電所（メガソーラー）の開発ニーズが高まりを見せています。それに伴い、造成の計画・立案、造成工事の管理、さらにはパネルの点検などの作業が必要となります。

今回テラドローンは、栃木県那須塩原市に太陽光発電の設置を計画する juwi 自然電力株式会社から依頼を受け、ドローンによる測量を行いました。

ドローンによる測量の様子

ドローン測量のメリット　―　コスト・時間を大幅削減

　ドローンを用いた測量を行う最大のメリットは、従来の測量方法と比較し、コストと時間を大幅に削減できることです。

測定方法	測定面積	測定日数	成果品作成日数	概算費用
テラ・ドローン	2 ha	1 時間	1 人工（1 日）	1.0
地上 3D レーザ測量	2 ha	1 日（平均）	2 人工（2 日）	4.0
光波測量	2 ha	3 日（平均）	10 人工（5 日）	5.6

　例えば、約２ヘクタールの計測において、本サービスではわずか１日で空撮から完成まで一括して行うことができます。地上レーザ計測では約３日、光波測量に関しては約８日必要であった従来の方法に対し、大幅な時間短縮に成功しました。

　また、概算コストの比較を行った結果、本サービスを用いることにより、光波測量の５分の１以下、３Ｄレーザ測量の４分の１まで費用を抑えることが可能になりました。

今後は、太陽光発電の設置だけでなく、山間部や災害現場でもドローン測量を

　今後は、山間部における太陽光発電所の設置などのニーズにお応えし、ドローンを活用し効率的な写真測量・レーザ測量を行っていきます。それだけでなく、人が立ち入ることができない災害現場における復旧のための測量など、テラドローンの技術を広く活用していきます。

■テラドローン株式会社
ドローンを用いてレーザ・写真測量を行い、高精度3次元図面を短時間で作成、土量管理、工事の進捗管理に役立つサービスを提供。同業を100回以上行った実績を持ち、大手ゼネコンからも受注した実績を持つ。グループ会社はアジアで電動二輪、三輪を製造、販売し、海外売上比率95%を誇るテラモーターズ。

■会社概要
テラドローン株式会社
代表者　：　徳重　徹
事業内容　：　測量、点検、各種コンサルテーション等ドローン関連サービスを総合的に提供。
URL　　：　http://www.terra-drone.co.jp/

■本件に関する問い合わせ
テラドローン株式会社 広報担当
TEL:　03-6419-7193
Mail:　info.jp[@]terra-drone.co.jp